

第2回 清華大学・北京大学・筑波大学合同セミナー

下記の通り合同研究会を行います。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

主催：人文社会科学研究科 IFERI

日時：2月6日（金）、7日（土）

会場：人文社会学系棟 B6 2 0（6日）、共同利用棟 A1 0 2（7日）

※一日目と二日目で会場が異なりますのでご注意ください。

プログラム

2月6日（金） 会場：人文社会学系棟 B6 2 0

午前の部

09:50 開会の辞

09:55 挨拶 坪井美樹（人文社会科学研究科長）

基調講演

10:00 張 威（清華大学）

「国語教材の実態調査からみる複合動詞習得のあり方

—第二言語習得における複合動詞学習方略を見直すために—

11:00 彭 広陸（北京大学）

「中国人日本語学習者向けの日本語教育文法一品詞体系を中心に—

午後の部

セッション1 人文社会科学研究

14:00 和久 希（筑波大学大学院 哲学・思想専攻）

「経学としての「文学」—六朝文論の視点から—

14:30 飯野知宏（筑波大学大学院 歴史・人類学専攻）

「1950 - 60年代、台湾東部における社会建設の研究

—宜蘭県礁溪郷の事例を中心として—

15:00 王 冰（筑波大学大学院 国際日本研究専攻）

「現代中国の市民社会における「公共圏」の構築

—『南方週末』、『南方都市报』の四川地震報道を事例に—

セッション2 日本語研究

15:45 王 丹丹（筑波大学大学院 文芸・言語専攻）

「日中語における任意の解釈をもつ空範疇の生起について

—任意のモノを表す場合を中心に—

16:15 金 成姫（筑波大学大学院 文芸・言語専攻）

「「否定のスコープと焦点」について」

16:45 田川拓海（筑波大学大学院 文芸・言語専攻）

「間投用法の「ね」の認可条件について—統語論と音韻論の接点—

懇親会

18:00 第一学群 2F スープファクトリー

2月7日（土） 会場：共同利用棟 A1 0 2

セッション3 日本語教育・言語教育

10:00 伊藤秀明（筑波大学大学院 地域研究研究科）

「中国人学習者における相対自他動詞の習得状況の分析—自他選択の判断要因から—

10:30 許 挺傑（筑波大学大学院 国際地域研究専攻）

「中上級日本語学習者の発話ストラテジーについて—KYコーパスの分析から—

11:00 蔡 葶葳（筑波大学大学院 国際日本研究専攻）

「結果存続表現における使用意識

—アンケート調査とグループディスカッションを通して—

※懇親会への多数の参加をお待ちしております。会費は一般の方:4000円、学生:3000円となっております。

参加を希望される方は下記までご連絡ください。

問い合わせ 田川 拓海 takumidlit@gmail.com（文芸・言語専攻 応用言語学）